

# 経済・金融概況

## [英国]

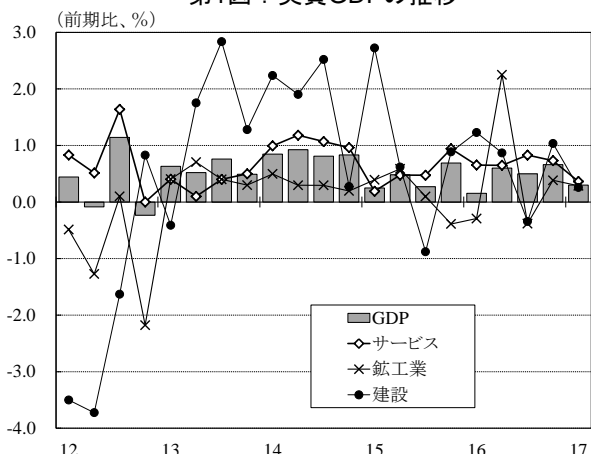
### 1. 概況

英国景気は昨年 6 月の国民投票における EU 離脱選択というショックがあったものの、昨年中は予想以上に堅調さを維持した。しかし 2017 年に入り、景気の減速が顕著となっている。2017 年 1-3 月期の実質 GDP 成長率は前期比+0.3%と、10-12 月期の同+0.7%から大きく減速した（第 1 図）。セクター別の内訳をみると、GDP の 8 割近くを占めるサービス業が同+0.3%と、前期の同+0.8%から伸び率が大幅に鈍化した。ポンド安による輸入物価上昇等を受けて消費が抑制されたことから、特に小売や宿泊業といった業種が全体を下押ししたと考えられる。

今後についても、英国景気は勢いが鈍い状況が続くと考えられる。英国政府は 3 月 29 日に欧州連合（EU）に対して正式に離脱を通告し、2 年間に亘る交渉がスタートした。2 日後の 31 日には EU が英国との交渉の基本指針を公表、同指針は 4 月 29 日に開催された英国を除く EU 加盟 27 カ国による臨時首脳会議で承認された。基本指針では、英国の未払分担金等の清算、英国と EU の双方の市民や企業の利益保護、離脱後の英国とアイルランドの国境管理等を優先交渉事項とし、これらの交渉が一定程度進展するまでは、貿易協定等に関する交渉は開始されないとした。この EU 側の交渉指針は、離脱条件等の交渉と貿易交渉を並行させたい英国政府側の希望とは相容れないものとなっている。特に未払金の内容や金額を巡っては、双方の意見に食い違いが見られ、交渉は難航するリスクが高い。このため、今後も先行き不透明感が強い状況は続くと考えられ、企業の投資手控えや雇用・賃金上昇の抑制が見込まれよう。また個人消費についても、ポンド安の影響を受けた輸入物価上昇や賃金上昇率の伸び悩みによる家計の実質購買力の低下が下押しすると予想され、英国景気は低調に推移する公算が大きい。

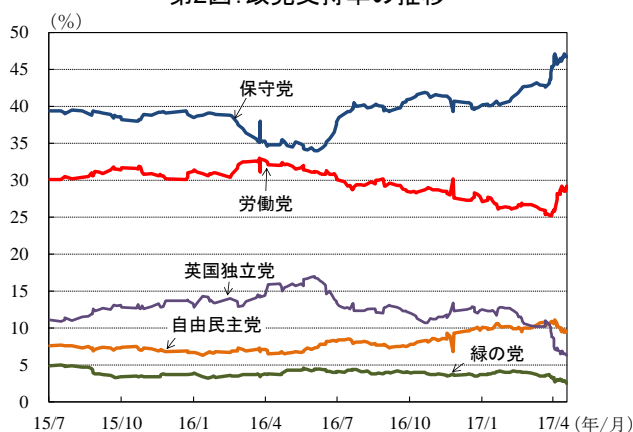
メイ首相は 4 月 22 日、2020 年に予定されていた総選挙を前倒しし、6 月 8 日に実施すると発表した。解散総選挙の狙いは、第一に EU との離脱交渉にあたって国民の信任を得ることであろう。また、野党第 1 党である労働党が党内の亀裂鮮明化等を背景に支持率を落としており、与党保守党の大勝が期待できる。保守党が大勝すれば、国会運営の円滑化もさることながら、メイ首相自身の党内での基盤も強化されよう。保守党の支持率は直近の調査で 46.7%と労働党の 28.6%を大きく上回っている（第 2 図）。5 月 4 日に全国的に行われた地方選挙においても保守党は圧勝しており、総選挙では保守党が議席を大きく積み増す公算が大きい。

第1図：実質GDPの推移



(資料)英国立統計局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

第2図：政党支持率の推移



(注) YouGov, Ipsos MORI等13社の調査数値10回分の平均  
(資料) PollBase, Britain Elects等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 2. 生産

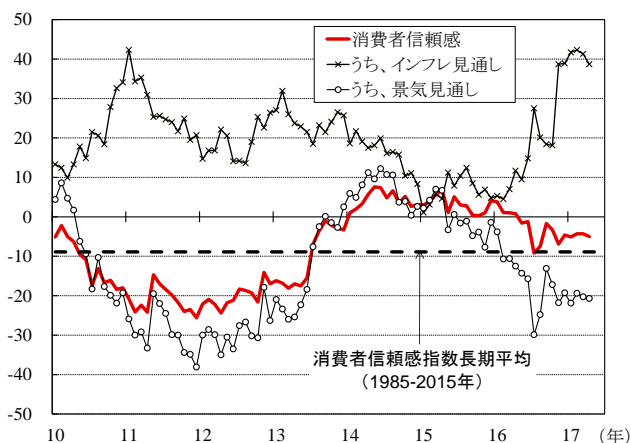
3月の鉱工業生産は前月比▲0.5%となり、3ヵ月連続で減少した。内訳をみると、製造業が同▲0.6%と3ヵ月連続で落ち込んだほか、3月は気温が例年より暖かかった影響でエネルギー需要が低下したことから、電気・ガス供給業が同▲4.2%と大幅に減少したことが全体を押し下げた。一方、先行指標では今後生産がある程度持ち直す可能性も示されている。4月の製造業の購買担当者指数（PMI）は57.3と2014年以来の高水準に上昇した。内訳をみると、新規受注が内需・外需共に堅調となり、伸び幅が拡大した。ただし、ポンド安の影響を受けて昨年後半から急上昇した仕入価格については、上昇ペースこそ鈍化した。引き続き上昇基調にある。また完成品価格も上昇を続けており、インフレ率上昇による国内需要の下押しリスクには引き続き留意が必要であろう。

## 3. 消費、雇用

3月の小売売上（数量ベース）は前月比▲1.8%となり、前月の同+1.7%から再びマイナスに転じた。今後についても、ポンド安の影響を受けた輸入インフレ圧力の高まりが家計の購買力を低下させることが予想され、個人消費は弱含みの展開となる公算が大きい。インフレ期待の上昇やEU離脱を巡る不透明感の高まりを受けた景気見通しの弱含み等を受けて、消費者信頼感指数も軟調が続いている（第3図）。

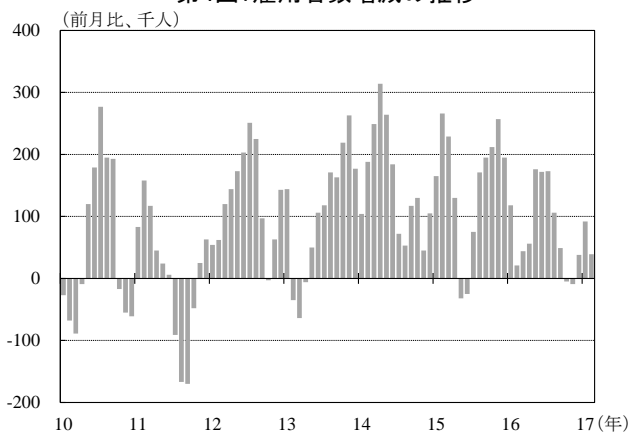
雇用環境は引き続き良好な状態にあるものの、改善ペースには陰りがみられる。雇用者数の推移を見ると、年初以降の平均増加幅は毎月比+6.5万人と、2014年から2015年にかけての同+15万人から大幅に縮小した（第4図）。平均賃金上昇率（3ヵ月移動平均、ボーナス含む）についても、2月は前年比+2.3%と底堅い伸びを維持したが、昨年後半の上昇ペース（同+2.5%）から鈍化している。

第3図：消費者信頼感指数の推移



(資料) 欧州委員会統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

第4図：雇用者数増減の推移



(注) 雇用者数は3ヵ月移動平均

(資料) 英国立統計局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

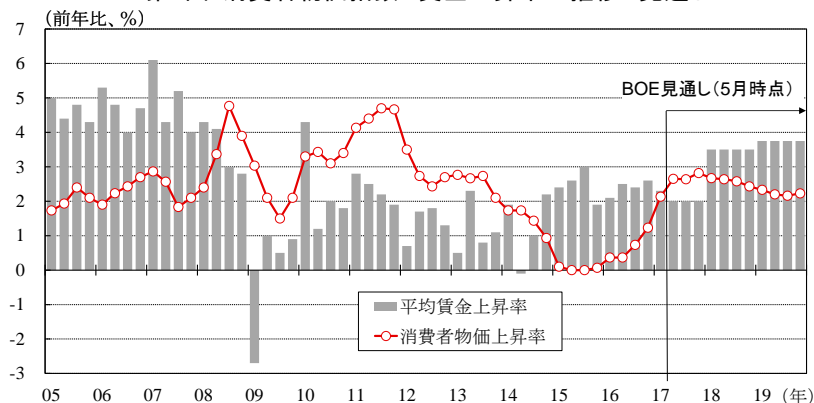
## 4. 物価

4月のインフレ率は前月の前年比+2.3%から同+2.7%に上昇した。昨年は3月であったイースター休暇が今年は4月にずれたことで航空運賃等が上昇し、インフレ率加速の一因となった。また4月1日からの自動車税引き上げや、電気料金の引き上げ等も影響した。

## 5. 金融政策

BOEは、5月11日の金融政策委員会(MPC)で政策金利を0.25%に据え置いた。同日公表のインフレ報告書では、2017年の経済成長率見通しが前回2月の前年比+2.0%から同+1.9%に小幅修正された。BOEでは、ポンド安による輸入物価上昇を背景に2017年中のインフレ率は賃金上昇率を上回り、個人消費を抑制すると見込んでいる。一方、企業投資については海外経済の堅調さを受けて輸出企業を中心に従来の予想以上に底堅く推移するとし、純輸出と共に景気の底支え役となるとの見方を示した。ただし、上記の見通しはEU離脱交渉が円滑に進むことが前提となっている。

第5図：消費者物価指数と賃金上昇率の推移と見通し



(注) 平均賃金上昇率は3ヵ月移動平均、ボーナス含む。2017年Q1の平均賃金上昇率は1-2月の平均値、以降はBOEの年間平均賃金上昇率の見通し

(資料) 英国立統計局、英中銀統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 英国主要経済指標

①年、四半期

		2014	2015	2016	2016/Q1	Q2	Q3	Q4	2017/Q1
実質GDP成長率*		3.1	2.2	1.8	0.2 1.6	0.6 1.7	0.5 2.0	0.7 1.9	0.3 2.1
実質企業投資									
(前期比、%)		3.9	5.1	▲ 1.5	▲ 1.1	0.8	0.4	▲ 0.9	-
(前年比、%)					▲ 1.9	▲ 0.9	▲ 2.4	▲ 0.9	-
鉱工業生産*		1.5	1.2	1.2	▲ 0.3 0.0	2.2 1.6	▲ 0.4 1.2	0.4 1.9	0.1 2.3
製造業		2.9	▲ 0.2	0.7	▲ 0.3 ▲ 1.1	1.8 1.2	▲ 0.7 0.9	1.2 2.0	0.3 2.6
信頼感指数*									
製造業		7.2	0.0	▲ 1.8	▲ 6.0	▲ 2.2	▲ 2.3	3.1	9.1
消費者		4.4	3.1	▲ 2.4	2.0	▲ 0.7	▲ 6.1	▲ 4.9	▲ 4.6
小売売上数量*		4.0	4.3	4.9	1.8 4.3	1.0 4.3	1.6 5.3	0.9 5.4	▲ 1.4 2.1
失業者数 (失業保険べース)*		(千人) 1,037.1	799.0	775.9	744.0	772.5	786.4	800.7	750.4
(前期比、%)		▲ 27.1	▲ 23.0	▲ 2.9	▲ 5.0	3.8	1.8	1.8	▲ 6.3
失業率*									
失業保険基準(%)		3.0	2.3	2.2	2.2	2.2	2.3	2.3	2.2
ILO基準(%)		6.2	5.4	4.9	5.1	4.9	4.8	4.8	-
平均賃金収入* (ボーナス含む)		(前年比、%) 1.3	2.5	2.4	2.1	2.5	2.4	2.5	-
生産者価格									
産出価格		0.0	▲ 1.7	0.5	▲ 0.2 ▲ 1.0	0.9 ▲ 0.4	0.6 0.8	1.1 2.5	1.0 3.7
投入価格		▲ 6.6	▲ 12.8	2.0	▲ 1.2 ▲ 7.6	4.1 ▲ 4.1	5.5 6.5	5.2 14.1	2.9 18.8
小売物価									
消費者物価(CPI)		1.5	0.0	0.7	▲ 0.5 0.4	0.6 0.4	0.5 0.7	0.6 1.2	0.5 2.1
総合指数(RPI)		2.4	1.0	1.8	0.0 1.4	0.9 1.4	0.8 1.9	0.6 2.2	0.7 3.0
住宅ローン金利を除く(RPIX)		2.4	1.0	1.9	0.0 1.4	0.9 1.6	0.9 2.0	0.7 2.5	0.8 3.3
住宅価格									
(HBOS, Halifax index)		8.8	8.9	7.6	3.0 10.0	1.0 8.4	▲ 0.0 5.8	2.5 6.5	0.1 3.8
財輸出入金額									
世界計 (百万ポンド)		292,894	287,584	301,405	70,065	74,835	74,448	82,057	82,550
(前年比、%)		▲ 3.4	▲ 1.8	4.8	▲ 2.3	0.7	5.4	15.7	17.8
対EU28カ国 (百万ポンド)		145,472	133,957	144,175	33,296	35,666	37,071	38,142	40,304
(前年比、%)		▲ 3.8	▲ 7.9	7.6	▲ 0.6	3.9	10.9	16.6	21.0
財輸入金額									
世界計 (百万ポンド)		415,469	407,304	435,472	102,384	105,700	113,687	113,701	119,425
(前年比、%)		▲ 2.0	▲ 2.0	6.9	▲ 3.6	4.0	14.3	13.6	16.6
対EU28カ国 (百万ポンド)		224,734	222,912	239,804	57,269	58,719	61,016	62,800	65,599
(前年比、%)		1.8	▲ 0.8	7.6	1.2	5.2	11.3	12.8	14.5
財貿易収支									
世界計 (百万ポンド)		▲ 122,575	▲ 119,720	▲ 134,067	▲ 32,319	▲ 30,865	▲ 39,239	▲ 31,644	▲ 36,875
対EU28カ国 (百万ポンド)		▲ 79,262	▲ 88,955	▲ 95,629	▲ 23,973	▲ 23,053	▲ 23,945	▲ 24,658	▲ 25,295
経常収支*		(百万ポンド) ▲ 84,998	▲ 80,233	▲ 84,504	▲ 25,723	▲ 20,992	▲ 25,701	▲ 12,088	-
通貨供給量* M4 : (前年比、%)		▲ 1.1	0.3	6.3	1.5	3.6	6.1	6.3	6.6
公共部門所要借入額 (PSNCR) (百万ポンド)		23,223	8,479	37,518	21,705	20,026	12,541	37,518	34,311
外貨準備(金を除く) (10億米ドル)		95.7	119.0	123.5	125.2	128.7	132.3	123.5	129.5
政策金利 (%)		0.50	0.50	0.25	0.50	0.50	0.25	0.25	0.25
ユーロ・ポンド金利 (3ヵ月物) (%)		0.54	0.57	0.50	0.59	0.58	0.43	0.39	0.35
国債利回り (10年物) (%)		2.53	1.83	1.27	1.54	1.50	0.79	1.26	1.25
米ドル/ポンド為替相場		1.648	1.528	1.355	1.431	1.435	1.313	1.241	1.239
ポンド/ユーロ為替相場		0.806	0.726	0.819	0.771	0.787	0.850	0.869	0.860
円/ポンド為替相場		174.33	184.92	146.75	164.84	154.77	134.35	136.03	140.77
ポンド実効相場**		86.97	91.45	82.02	87.02	85.59	78.86	76.65	77.13

(注) 特記なき限り上段は前期比、下段は前年比。外貨準備、通貨供給量については月末値、金利はレボ金利が期末値、  
その他が期中平均値。\*印は季調値。失業率=失業者数/自営を含む就業者数。

信頼感指数については、欧州委員会発表。\*\* 2005年=100

(資料) 英中銀、英国立統計局統計より三菱東京UFJ銀行作成

②月次

	2016/9	10	11	12	2017/01	2	3	4	
実質GDP成長率*	データは四半期のみ								
鉱工業生産*	▲ 0.3 0.5	▲ 1.2 ▲ 0.8	2.3 2.3	0.9 4.3	▲ 0.5 3.1	▲ 0.8 2.5	▲ 0.5 1.4	-	
製造業	0.6 0.6	▲ 1.0 0.0	1.4 1.8	2.2 4.2	▲ 1.1 2.5	▲ 0.3 3.0	▲ 0.6 2.3	-	
信頼感指数*	▲ 2.4 ▲ 1.7	▲ 0.4 ▲ 3.3	5.7 ▲ 6.9	4.1 ▲ 4.6	7.7 ▲ 5.1	9.9 ▲ 4.3	9.7 ▲ 4.3	6.6 ▲ 5.0	
小売売上数量*	▲ 0.2 4.0	2.1 7.3	▲ 0.4 5.5	▲ 2.3 3.7	▲ 0.3 0.9	1.7 3.7	▲ 1.8 1.7	-	
失業者数 (失業保険へ入る) *	793.4 (前月比、%)	806.7 1.7	808.0 0.2	787.4 ▲ 2.5	746.0 ▲ 5.3	739.9 ▲ 0.8	765.4 3.4	-	
失業率*	(失業保険基準、%) (ILO基準、%)	2.3 4.8	2.3 4.8	2.3 4.8	2.3 4.7	2.2 4.7	2.1 -	2.2 -	
平均賃金収入* (ボーナス含む)	(前年比、%) (3ヵ月平均前年比、%)	2.6 2.4	2.8 2.5	2.9 2.8	1.9 2.6	2.0 2.3	2.9 2.3	-	
生産者価格	産出価格 投入価格	0.3 0.4	0.7 4.4	0.1 ▲ 0.6	0.3 2.4	0.6 1.4	0.2 0.0	0.4 0.0	
物価	消費者物価(CPI) 総合指数(RPI) 住宅ローン金利を除く(RPIX)	0.2 1.0 0.2	0.1 0.9 0.0	0.2 1.2 0.3	0.5 1.6 0.6	▲ 0.5 1.8 ▲ 0.6	0.7 2.3 1.1	0.4 2.3 0.3	
住宅価格	(HBOS, Halifax index)	0.3 5.8	1.5 5.2	0.6 6.0	1.6 6.5	▲ 1.1 5.7	0.0 5.1	0.0 3.8	
財輸出金額	世界計 (百万ポンド) 対EU28カ国 (百万ポンド)	24,550 12,073	26,659 12,197	27,374 12,944	28,024 13,001	27,254 13,132	27,122 13,187	28,174 13,985	
財輸入金額	世界計 (百万ポンド) 対EU28カ国 (百万ポンド)	38,704 20,837	36,080 19,993	38,682 21,418	38,939 21,389	39,240 21,332	38,570 21,515	41,615 22,752	
財貿易収支	世界計 (百万ポンド) 対EU28カ国 (百万ポンド)	▲ 14,154 ▲ 8,157	▲ 9,421 ▲ 7,885	▲ 11,308 ▲ 7,392	▲ 10,915 ▲ 7,787	▲ 11,986 ▲ 8,219	▲ 11,448 ▲ 7,576	▲ 13,441 -	
経常収支*	(百万ポンド)	データは四半期のみ							
通貨供給量*	M4 : (前年比、%)	6.1	6.6	6.4	6.3	7.1	5.9	6.6	
公共部門所要借入額 (PSNCR)	(百万ポンド)	12,541.0	1,828.0	21,074	37,518	▲ 22,599	12,880	34,311	
外貨準備(金を除く)	(10億米ドル)	132.3	131.3	126.1	123.5	128.1	127.8	129.5	
政策金利 (%)		0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	
ユーロ・ボンド金利 (3ヵ月物) (%)		0.38	0.40	0.40	0.37	0.36	0.36	0.35	
国債利回り(10年物) (%)		0.77	1.04	1.34	1.38	1.37	1.25	1.14	
米ドル/ポンド為替相場		1.314	1.233	1.243	1.247	1.235	1.249	1.235	
ポンド/ユーロ為替相場		0.853	0.894	0.867	0.846	0.861	0.852	0.866	
円/ポンド為替相場		133.84	128.07	134.96	144.81	141.91	141.10	139.40	
ポンド実効相場**		78.75	74.77	76.77	78.32	77.10	77.70	76.65	

(注) 特記なき限り上段は前月比、下段は前年比。

\*印は季調値。失業率=失業者数/自営を含む就業者数。信頼感指数については欧州委員会発表。

\*\* 2005年=100 外貨準備、通貨供給量については月末値、金利はレポ金利が月末値、その他は期中平均値。

(資料) 英中銀、英国立統計局統計より三菱東京UFJ銀行作成

照会先：三菱東京 UFJ 銀行 経済調査室 ダーベル 暁子 akiko.darvell@uk.mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。